

主催：秦野商工会議所工業部会・東海大学・秦野市
 共催：東海大学総合科学技術研究所

I. 講演会

「～創・省・煉エネ社会の実現に向けて～ 革新的エネルギー変換技術の実用化と産学連携について」

現在のエネルギー事情を取り巻く状況は、SDGs や COP26 等の世界的な潮流により、脱炭素化に向けた動きが加速し、これに対応するための社会・経済システムへの変換が求められています。

東海大学では、環境エネルギー問題の解決に向け、モビリティ技術に関する新規・独創的な研究開発の推進体制(コンソーシアム)を設立し、地域企業とともにものづくりをネクストステージに押し上げる取り組みを進めています。今回は、コンソーシアムの全体像と熱・音波を利用したエネルギー変換が特徴の熱音響デバイスについて、プロトタイプの見学を交えながら講演いただきます。

第1部

「メソ領域における『流れ』の見える化コンソーシアムについて」

【講師】

東海大学 ユニバーシティビューロー

ゼネラルマネージャー(研究担当)

総合科学技術研究所 所長

工学部 機械工学科 教授

いわもり さとる

岩森 暁 氏



第2部

「廃熱から音波によって

冷却と発電を可能とする

熱音響デバイスについて」

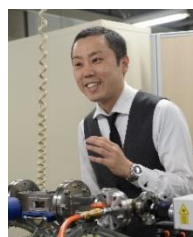
【講師】

東海大学 工学部

動力機械工学科 准教授

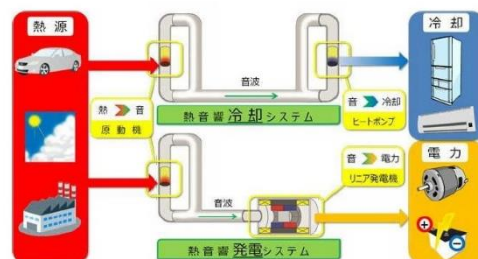
はせがわ しんや

長谷川 真也 氏



講演概要

工場、自動車、船舶などが使用している燃料由来のエネルギーの半分以上は廃熱として未利用のまま捨てられています。これらの未利用の熱を「熱音響デバイス」を用いて回収し、電力や冷却・加熱に再利用する研究を行っています。熱音響デバイスはピストンやタービン等の機械部品の代わりに音波でエネルギー変換を行うため、メンテナンスフリー、高効率、ローコストという特徴を有します。本講演では東海大学の熱音響デバイス研究やプロトタイプなどを紹介します。



II. 東海大学 分析装置見学会

東海大学では、保有している分析装置等について、学内利用がない時間帯は、外部（事業者等）の利用を受け入れています。利用に当たっては、装置利用講習会の受講が必要となりますが、自社で分析装置等を導入・維持するよりも低い費用負担で利用することができます。

見学会では、代表的な分析装置の効果や利用方法について、デモンストレーション分析の結果を織り交ぜながらご覧いただく予定です。

日時 令和4年2月18日(金) 午後2時～4時30分

場所 東海大学湘南キャンパス 17号館6階 研修室7 (会場案内図は裏面をご確認ください)

定員 30名 (感染症対策のため、定員になり次第締切ります)

申込 ①FAX: 下記申込書にご記入の上、秦野商工会議所事務局(担当: 地域産業振興課)へお申込み下さい。

TEL: 0463-81-1355 FAX: 0463-82-0273 ※FAX番号をお間違えないようお願いいたします。

②PC・スマホ: 秦野商工会議所ホームページ「セミナー・研修会」コーナー、研修会申込フォームをご利用ください。(https://www.hadano-cci.or.jp)



FAX送付票

「革新的エネルギー変換技術の実用化と産学連携について」・「分析装置見学会」(2/18) 参加申込書

事業所名		TEL	
参加者氏名	1.	2.	

会場案内図（東海大学湘南キャンパス）



※ お車の場合：第3駐車場に駐車・集合後、大学関係者誘導のもと入構